

1 題材の目標及び題材構想

「テスト目標点を表してみよう」（4時間完了）

(1) 題材の目標

① コンピュータ操作に関心を持ち、意欲的に授業に取り組むことができる。	(生活や技術への関心・意欲・態度)
② 生活の中のあらゆる場面で情報が処理されていることを知り、どのように工夫されているか見つけることができる。	(生活を工夫し創造する能力)
③ 情報を処理するための基礎的な技能を身に付け、コンピュータを操作することができる。(生活の技能)	
④ コンピュータが情報を処理する仕組みを知り、生活の中でコンピュータが果たす役割や及ぼす影響について考えを深めることができる。	(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	コンピュータ操作に関心を持ち、意欲的に授業に取り組み、作業を進めることができる。
生活を工夫し、創造する能力・・・【工】	生活の中のあらゆる場面でコンピュータによって情報が処理されていることを知り、どのように工夫されているか見つけることができる。
生活の技能・・・【技】	表計算ソフトを使って情報を処理するための基礎的な技能を身に付け、グラフを作成することができる。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	生活の中でコンピュータが果たす役割や及ぼす影響について考えを深め、また、コンピュータが情報を処理する仕組みを知ることができる。

(3) 題材構想

学習過程とねらい	時数	学習活動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
1 構想計画 ○コンピュータによる計測や制御を知る。	1	1 構想を練る。 ・コンピュータが普及する前の電化製品と現在の電化製品の特徴を踏まえ、これからの進化・開発について知る。 ・インターネットで検索をし、コンピュータがさまざまなところで活用されていることを理解する。	・電化製品の歴史を振り返らせることでコンピュータの存在が大切であることを再認識し、これからの進化について興味をもたせる。 ・情報処理の流れと人間の動きを対比させながら共通点を見つけさせる。 ・コンピュータを使う場合と使わない場合を比較させる。 ☆生活にコンピュータが欠かせないことを理解することができたか。 (授業の様子) 【関】
2 表計算ソフトの基本 ○表計算ソフトの基本的な操作を習得する。	1	2 表計算ソフトを使う。 ・各自でテスト目標点を設定し、表計算ソフトを使って入力す	・情報処理されている身近な例に目を向けさせ、意欲を高めさせる。 ☆表計算ソフトを使った情報処理に

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数を挿入したり，数式を入力したりすることで自分のデータを処理する。 	<p>関心をもてたか。（授業の様子）</p> <p style="text-align: right;">【関】</p>
<p>3 レポート作成</p> <p>○表計算ソフト及びワープロソフトを使ってレポート作成をする。</p>	1	<p>3 レポート作成をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトを使って表をつくり，合計や平均を計算して，グラフを作成する。 処理したデータをワープロソフトを使って用いて見やすいレイアウトに仕上げ，プリントアウトする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の内容が伝えたい目的に合っているか，考えさせる。 プリントを活用して作業を効率よく進めていく。 <p>☆作品の内容に基づき，適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し，作品を製作することができるか。（作品の様子）【技】</p> <p>☆見やすいレポートに仕上がっているか。（作品の様子）【工】</p>
<p>4 習得事項の活用</p> <p>○データを収集し，さまざまな方法で処理する。</p>	1	<p>4 データを収集し，さまざまな表やグラフで表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> データ処理のほかに写真の加工にも着手する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に作業が進められるように配慮する。 デジタルカメラで撮影した写真を活用してもよいこととする。 日常生活で情報処理が必要な場面を考え，意見を挙げさせる。 <p>☆自分の意見をもつことができたか。（ワークシート）【関】【工】【知】</p>